

山宮

市内最古の道祖神

山宮浅間神社の南方に、年号の分かるものとしては市内最古となる元禄2(1689)年に造られた道祖神があります。

男女2人の神が彫られた双体道祖神で、小正月(1月中旬頃)にこの地域で行われるどんど焼き*で火の中に入れていたため、表面が傷んでいます。

双体道祖神の隣には、明治43(1910)年に造られた「道祖神」と彫られた文字道祖神があり、2つの道祖神の間には、自然石が置かれています。現在は、自然石がどんど焼きで道祖神の代わりに焼かれます。



※どんど焼きは、道祖神の祭りともされており、道祖神を清め力を回復させようと、神聖な火の中へ投げ入れる地域があります。



道祖神

道祖神は、道路が交差するところや集落の境などにまつられ、人々のさまざまな願いが込められています。

富士宮市でも、外からくる疫病(伝染病)や、悪霊から人々を守るために江戸時代から造られました。

今でも、旅や交通安全、縁結び、子授け、安産などの身近な守り神として信仰されています。

道祖神を巡りながら、コロナ収束をともに祈ろう。

動画はこちら



市役所6階文化課で配布している道祖神マップ

歩く博物館Mコース<山宮地区>

山宮浅間神社と御神幸道をたずねるコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>

教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館

問 文化課 ☎22-1187



ふじのみやを歩こう 山宮浅間神社

市役所3階富士山世界遺産課、山宮浅間神社、イオンモール富士宮または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>世界遺産富士山>世界遺産としての富士山>世界遺産富士山>ふじのみやを歩こう

問 富士山世界遺産課 ☎22-1489



暮らしのなかに

一人一人が少し工夫するだけで、誰かの優しい暮らしにつながります。できることから一つずつ、暮らしのなかに取り入れてみませんか。

身近なことから

エスディー ジー ス SDGs

SDGsとは、地球上に住む私たちがこれからもずっと生き続けるために世界中のみんなで行き届く目標です。

このまちにみんなが住み続けられるように、一人一人が意識して行動しましょう。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



世界では、避難や移住が必要になるほどの自然災害が増え続けています。

災害に強いまちづくりには、最新の技術を取り入れ、電気・ガス・水道などのライフラインや情報を得るための通信、交通などのインフラの整備が必要です。

また、まちに住む一人一人が日頃から防災への意識を持つことも大切です。

11 住み続けられるまちづくりを



防災への意識を高める

災害に備えよう

防災への意識を高め、一人一人が日ごろからいざというときに備えておくことで、災害に強いまちづくりにつながります。

- 防災マップで、避難場所や避難経路を確認する。
- 災害時の連絡方法や安否確認の方法を家族で話し合う。
- 防災用品をそろえる。



富士宮市のSDGsへの取り組みを市公式ウェブサイトで紹介しています。

HP [トップページ](#) > [富士宮市について](#) > [市政の運営](#) > [推進事業](#) > [地方創生に向けたSDGs](#)



問 企画戦略課 ☎22-1113 FAX 22-1206

相手に合わせて

やさしい日本語

やさしい日本語とは、外国人、子ども、高齢者、障がい者など、相手に合わせてわかりやすく言い換えた日本語です。

会話は、身振り手振りを使って、ゆっくり・はっきり・大きな声で話しましょう。



単純に 大胆に

ニュアンスが少し違っていても、「です」「ます」を基本に、単純な言葉で大胆に言い切ります。

[例]

- ・何かをしてほしいときは、「してください」を使います。
- ・できるときは、「することができます」を使います。
- ・誰かに何かをされたときは、「だれが何をした」という表現を使います。
- ・熟語は、できるだけ使いません。

言い換えてみよう

- 01 この道は、危険なので気を付けましょう。
雨天時は、通れません。

↓

この道は ^{みち} 危 ^{あぶ} ないです。
気を付けて ^き ください。
雨が ^{あめ} 降 ^ふ っている時は ^{とき} 通 ^{とお} ることが
できません。

- 02 わたしは、先生にほめられました。

↓

先生は ^{せんせい} わたしを ^{わたし} ほめ ^{ほめ} ました。

- 03 公園の掃除の開始時間は、9時です。

↓

公園を ^{こうえん} 掃 ^{そう} 除 ^じ します。
朝 ^{あさ} 9 ^じ 時に ^{ほじ} 始 ^{はじ} め ^め ます。

問 広報課 ☎22-1119 FAX 22-1206